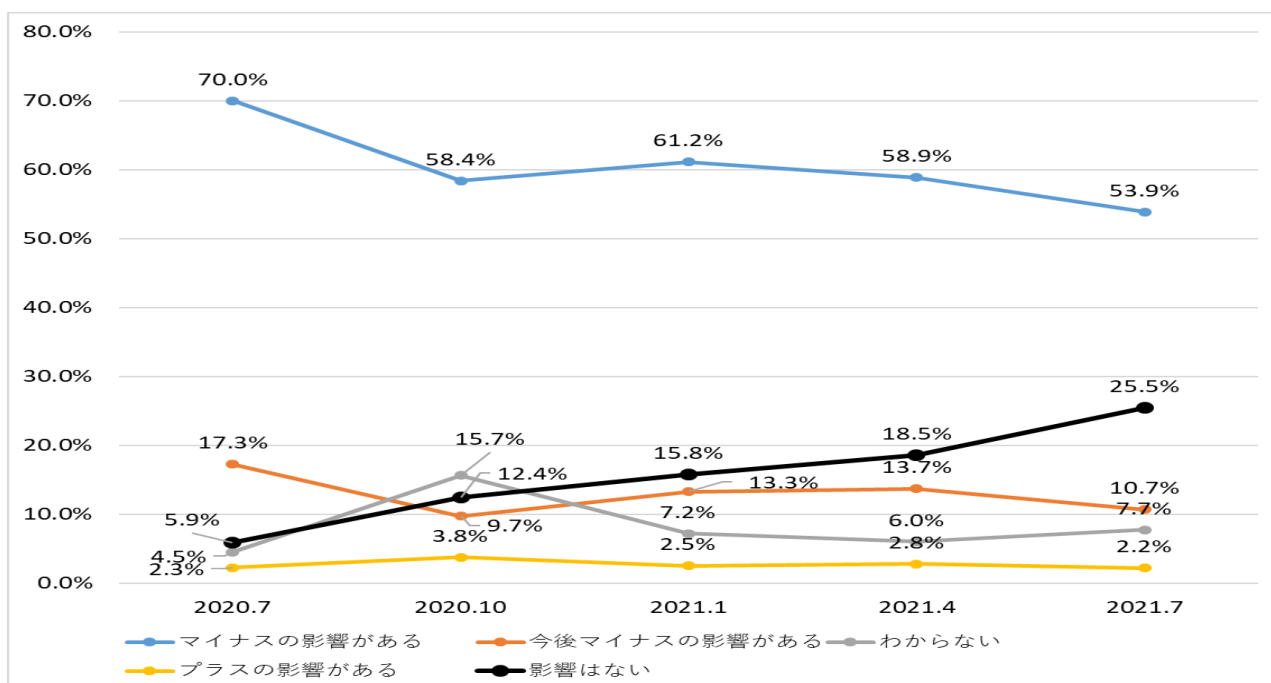


富山県内の中小企業に与える新型コロナウイルスの影響とSDGsへの取組み (2021年7月上旬アンケート実施)

2021年夏、新型コロナウイルス変異株の影響により、日本国内において急激な感染拡大に歯止めがかからない状況となっています。経済が持ち直してきた矢先のことであり、今後の経済に与える影響についてもダメージを与えることが予想されています。今回は、新型コロナウイルスに関する影響が県内企業にどのような影響を与え、そして1年前と比較してどのような状況となっているかを考察していきます。また、経済環境が厳しい中においても、SDGsを企業経営に取り込み持続可能な発展を遂げようとする考え方が広がっています。県内企業はSDGsについてどのような考えを持っているかアンケート結果より見ていきます。

「中小企業動向調査アンケート」回答結果 (新型コロナウイルス関連)

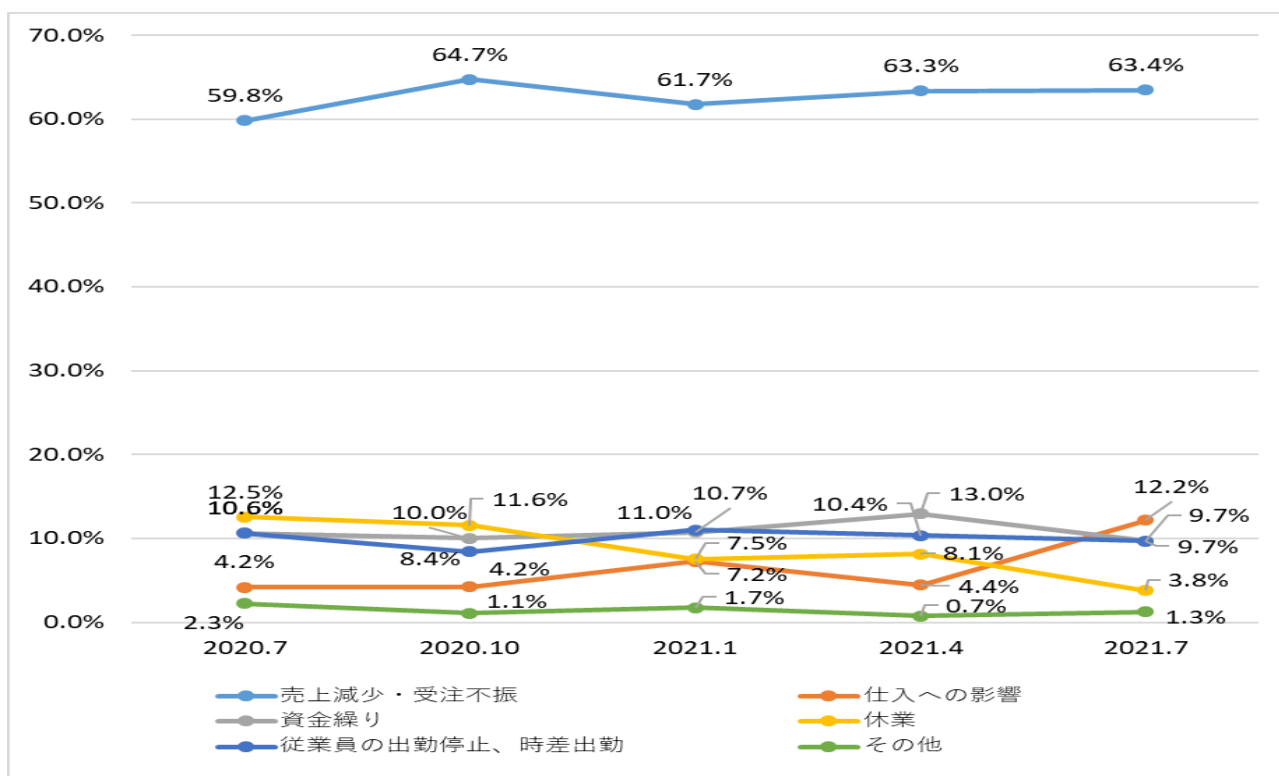
設問：新型コロナウイルスによる業績への影響はどうか



・2020年7月と比較すると「マイナスの影響がある」と答えた企業の割合が16.1ポイント減少しています。「影響はない」と答えた企業は19.6ポイント増加しています。1年前と比べ、新型コロナウイルス感染症が企業の業績に与える影響は少なくなっているといえます。

設問：具体的にはどのような影響がありますか(複数回答可)

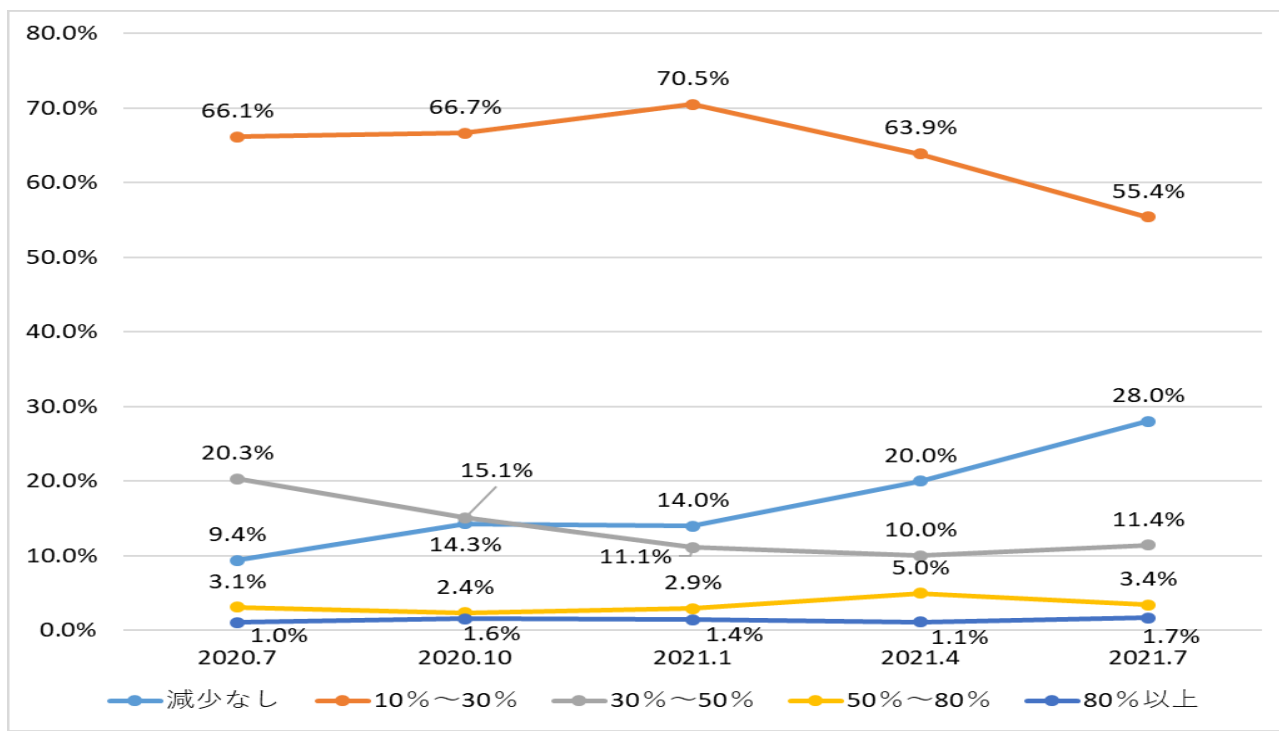
※「既にマイナスの影響がある」、「今後マイナスの影響がある」と回答された方のみ回答



・2020年7月と比較し大きく変化した項目として、「休業」による影響があると答えた企業は8.7ポイント減少しています。また、「仕入れへの影響」があると答えた企業は8ポイント増加しています。

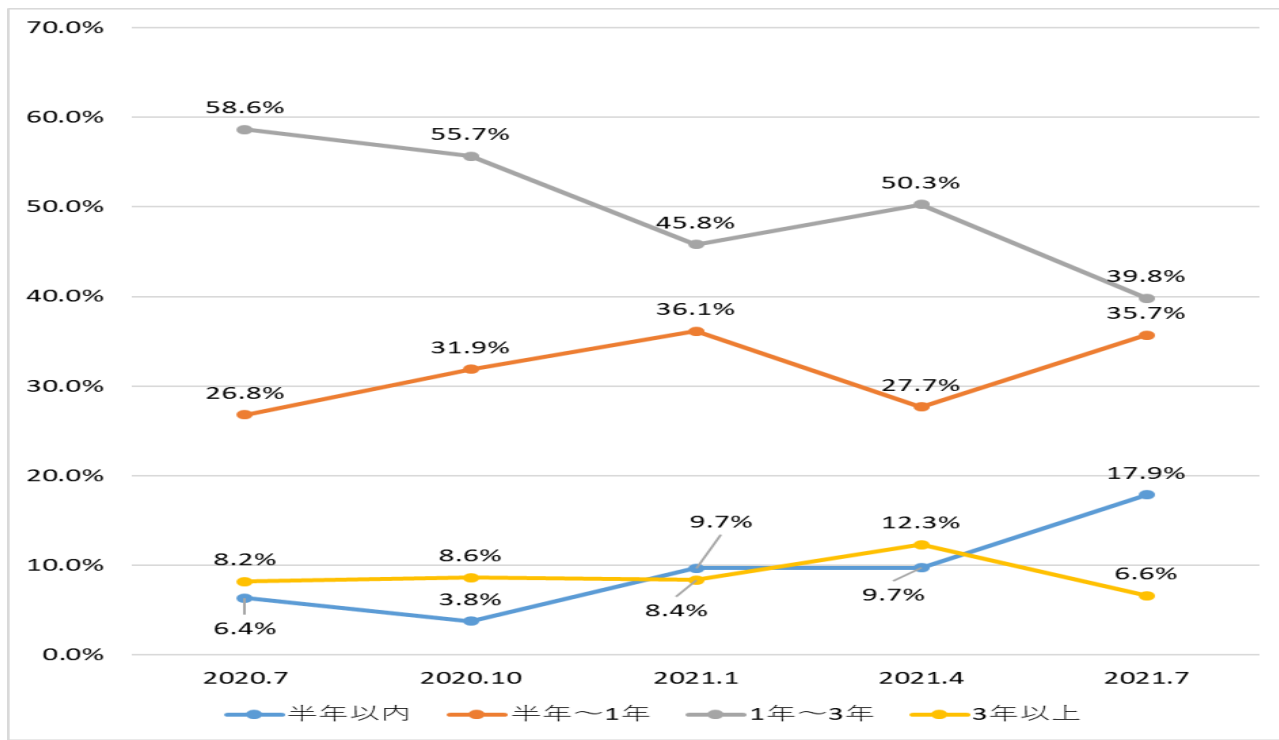
設問：今後半年間で売上の減少率はどれくらいを想定していますか

※「既にマイナスの影響がある」、「今後マイナスの影響がある」と回答された方のみ回答



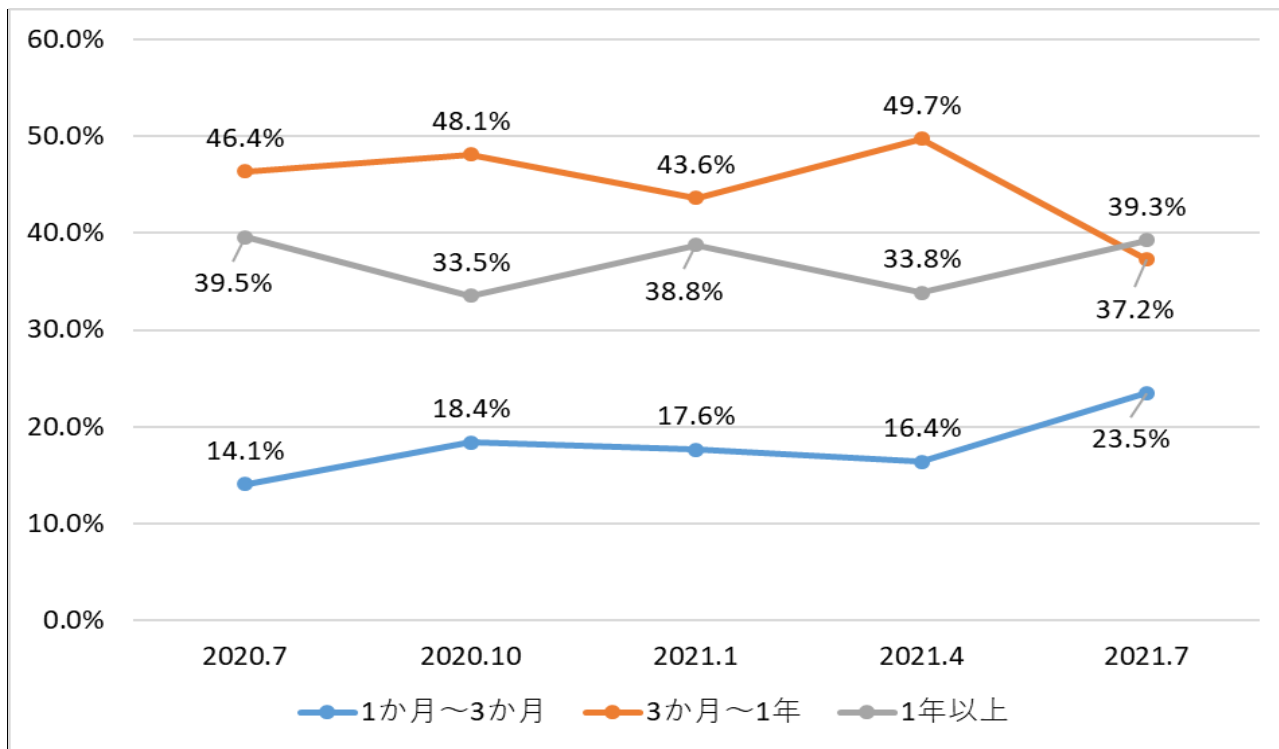
・減少率「10%～30%」と答えた企業が10.7ポイント減少しています。そして、「減少なし」と答えた企業は18.6ポイント増加しており、売上の減少について一部下げ止まりの傾向が出てきています。

設問：新型コロナウイルスの影響は今後どれくらいの期間続くと考えていますか



・「1年～3年」と答えた企業の割合が低下してきています。「半年以内」「半年～1年」と答えた企業の割合が増加しており、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復を見込んでいる企業が増加していると思われます。

設問：現状のコロナ影響が続く場合の資金猶予期間はどれくらいですか



・2020年7月と比較し、資金猶予が「1か月～3か月」と答えた企業が9.4ポイント増加しており業種によって、資金繰りが厳しくなっているところがあると思われます。「3か月～1年」と答えた企業は前回調査よりも12.5ポイント減少しており、減少幅が大きくなっています。

「中小企業動向調査アンケート」回答結果 (SDGsについて)

SDGsとは

SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)とは、2015年9月に国連で採択された2030年までに世界が達成すべき持続可能な開発目標のことであり、貧困や健康、女性、環境に関する17のゴールと、169のターゲットに分かれています。



日本政府による取組み

日本政府は2016年5月に総理を本部長、官房長官及び外務大臣を副本部長、全閣僚を構成員とする「SDGs推進本部」を設置し、SDGs推進のための実施体制を整えています。2016年12月にはSDGs推進のための中長期戦略である「SDGs実施指針」を策定し、政府の具体的な取組みを加速させています。また、SDGs実施に向けた官民パートナーシップを重視する観点から、民間セクター、NGO/NPO、有識者、国際機関、各種団体など広範なステークホルダーが集まる「SDGs推進円卓会議」を開催し、官民合同による推進を図っています。

SDGs経営の必要性

SDGsに対する社会・経済の関心が急激に高まっており、これからの時代はSDGsへの取組が企業の評価につながる時代が迫ってきています。SDGsを経営と結びつけることで、事業を通じて社会・経済・環境の課題解決に取組み、持続可能な企業として発展していくためにもSDGs経営が必要となってきています。

～SDGs経営で実現できること～

経済面:売上・利益の向上、イノベーション/新商品・新事業開発力の向上、コスト削減

環境面:エネルギーの使用量削減、水使用量削減、資源や廃棄物の使用量削減・再利用、温室効果ガス排出の削減

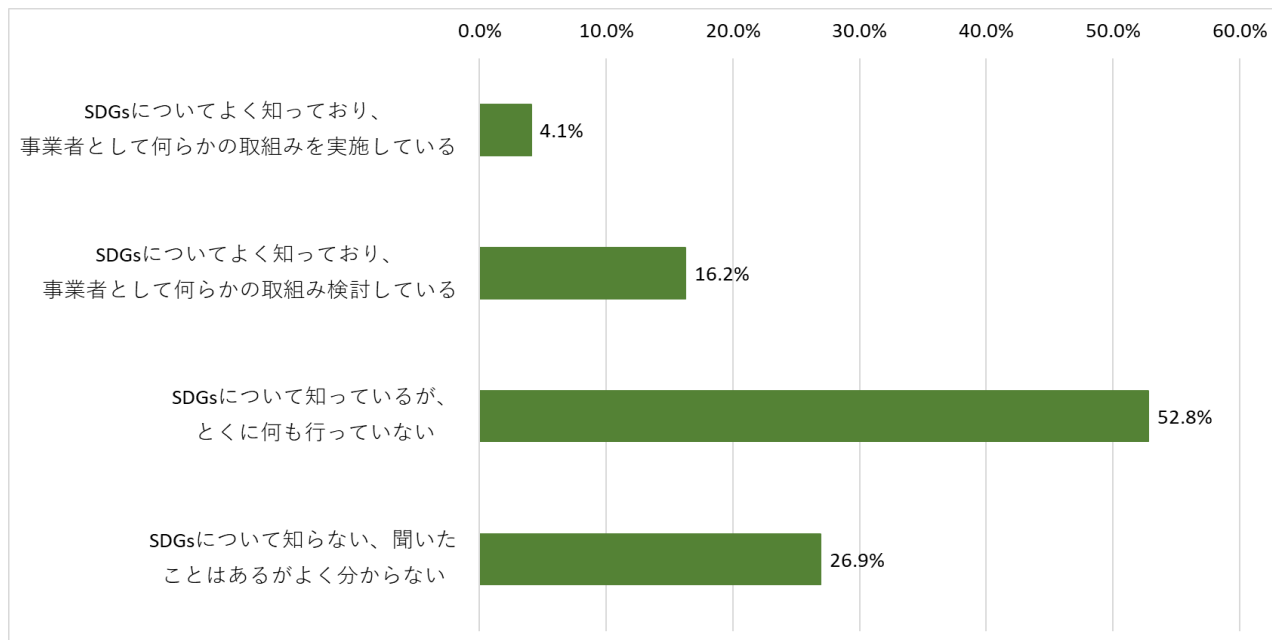
社会面:企業イメージの向上、経営の方向性を明示

人的面:社員のやる気向上、社会のロイヤルティ向上、人材不足の解消、モラル意識の向上

富山県の中小企業におけるSDGsアンケート結果

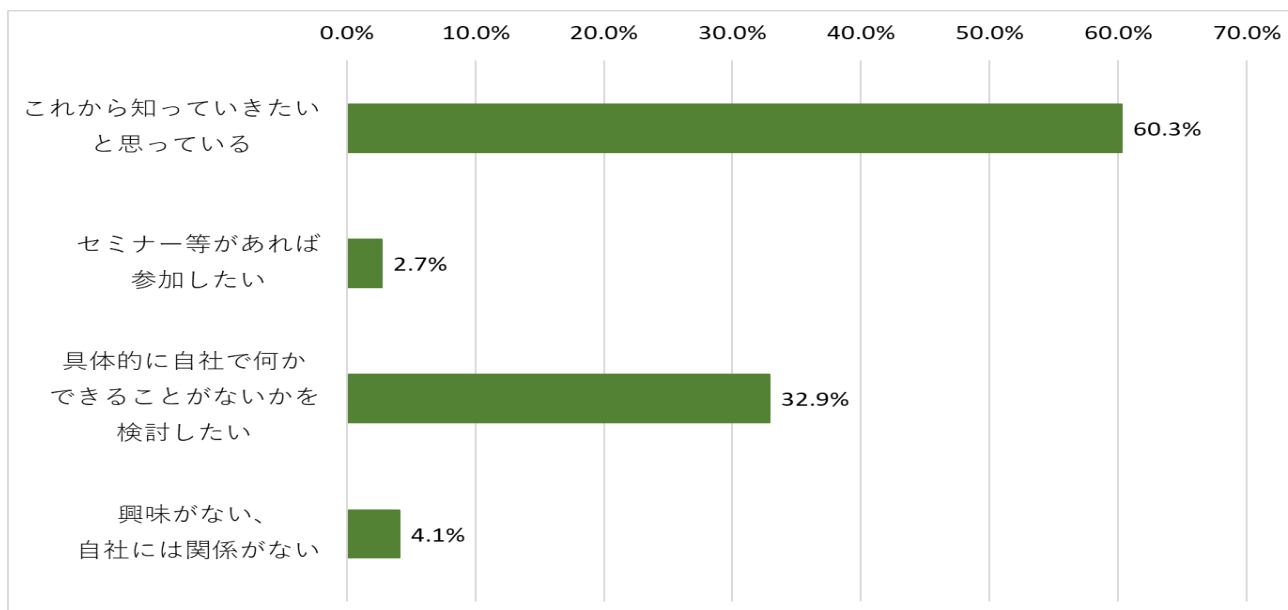
富山県内の中小企業ではSDGsについてどれだけ知っているでしょうか。また、具体的にどのような取組みを行っているのか、現状をアンケート結果より見ていきます。

設問：SDGsについて知っていますか



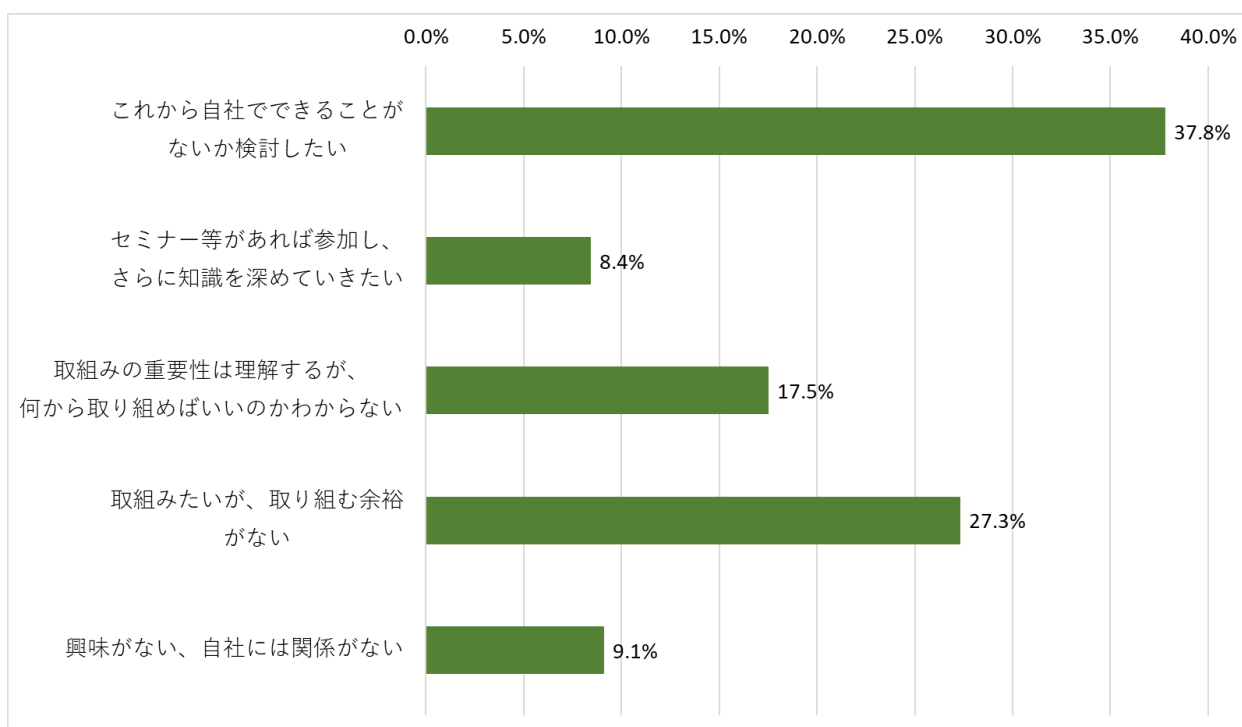
・「SDGsについて知っているが、とくに何も行っていない」と答えた企業が最も多く 52.8%、「SDGsについて知らない、よく分からない」と答えた企業も含めると、全体の 79.7%が SDGsに関する取組みを行っていないといえ、今後 SDGsについての周知が重要であるといえる。

設問：SDGsについて「知らない、聞いたことはあるがよくわからない」と答えた方は今後SDGsについてどうしたいと考えていますか



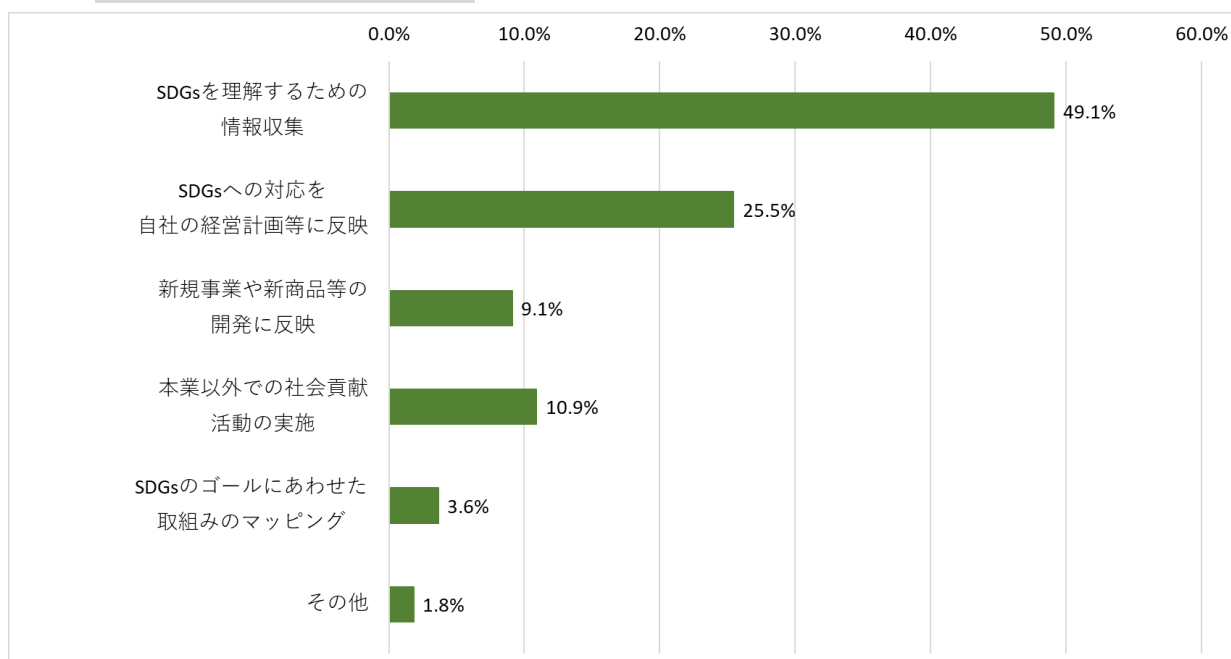
・SDGsについて「知らない、聞いたことはあるがよくわからない」と回答した企業のうち、6割以上の企業が「これから知りたい」と答えており、SDGsについての興味関心は高いといえる。

設問：SDGsについて「知っているが、とくに何も行っていない」と答えた方は、今後SDGsについてどうしたいと考えていますか



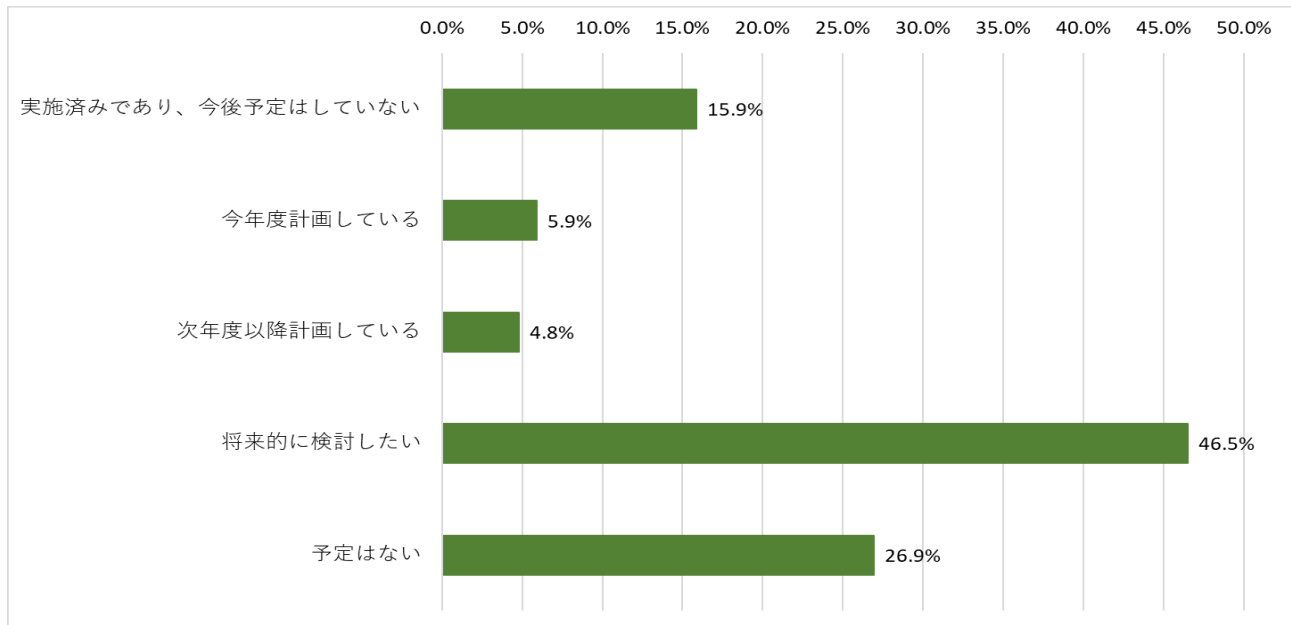
・SDGsについて「知っているが、とくに何も行っていない」と回答した企業のうち、37.8%の企業が何らかの取組みを行っていきたくて考えている。しかし、「取組みの重要性は理解するが、何から取り組めばいいかわからない」「取組みたいが取り組む余裕がない」と回答した企業は44.8%となっており、今後のSDGsへの取組みについての課題であるといえる。

設問：SDGsについて「何らかの取組みを検討、何らかの取組みを実施中」と答えた方は、どのような取組みを検討もしくは実施していますか



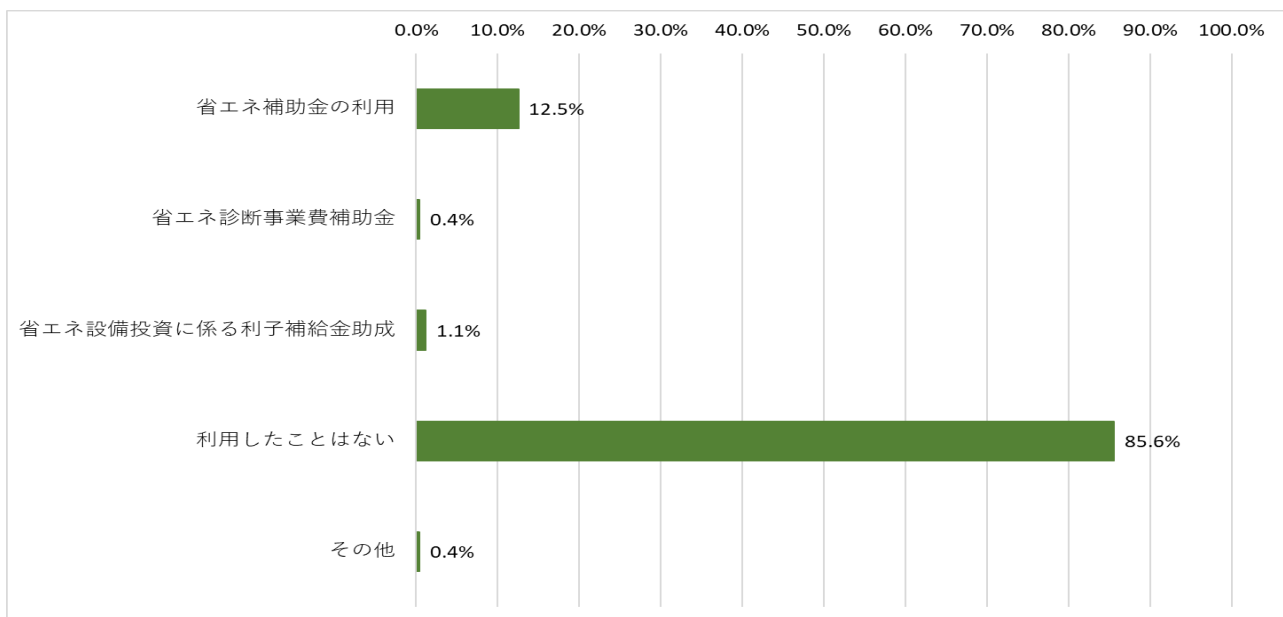
・SDGsについて「何らかの取組みを検討、何らかの取組みを実施中」と答えた企業のうち、「情報収集」と答えた企業が最も多く49.1%となっている。実際に経営計画等や新商品開発に反映させている企業も34.6%となっており、SDGsに対する具体的な取組みが実施されているケースも増加しているといえる。

設問：省エネルギーに対応した設備等の実施を予定していますか



・省エネルギーに対応した設備導入を希望している企業が5割近くにのぼり、設備効率性や環境負荷について検討している企業は多いといえる。

設問：省エネルギーへの政府支援策等について利用したことはありますか



・省エネルギーに関する政府支援策については、利用したことがないと答えた先が8割を超えている。環境に関する様々な支援策を活用しながら、省エネルギーへの転換を図っていく必要がある。

富山県内においてもSDGsについての認知度は非常に高く、8割超がSDGsについて知っていると答えました。また、現在SDGsの取組みを行っていない会社であっても、「今後自社でできることがないか検討したい」や「セミナー等で理解を深めたい」等、積極的にSDGsに取り組もうとする姿勢が見られました。今後は、中小企業でもSDGsを意識した経営がさらに重要になっていくと思われます。